


令和3年度第2回広島市教科用図書採択審議会会議録

署名者

長谷川 洋 

会議録調整者

与座 淳 

令和3年8月10日午後3時45分 令和3年度第2回教科用図書採択審議会を広島市役所本館本庁舎14階第5会議室（西）において開催した。

1 開会及び閉会に関する事項

開会 午後3時45分

閉会 午後4時45分

2 出席委員

会 長 長谷川 洋

副 会 長 渡辺 智恵

委 員 面崎 敬子

委 員 三原 正弘

3 事務局の出席者

指 導 第 二 課 長 吉村 敦

指 導 第 二 課 長 補 佐 藤本 美保子

指 導 第 二 課 指 導 主 事 与座 淳

指 導 第 二 課 指 導 主 事 佐々木 沙智

指 導 第 二 課 指 導 主 事 日浦 聡一

4 議事日程

(1) 会長挨拶

(2) 教科用図書調査・研究の経緯

(3) 議事

・ 社会（歴史的分野）

(4) 課長挨拶

(5) 諸連絡

5 議事の概要

○ 事務局

開会に先立ちまして、一言申し上げます。現在、本採択審議会の皆様、4名全員のご出席をいただいておりますので、本採択審議会は成立することになります。

本日お配りしております、資料について確認させていただきます。資料1と資料2です。なお、

資料につきましては、会議終了後、回収させていただきますので、よろしくお願いします。

それでは、令和3年度広島市教科用図書採択審議会を開催いたします。議事について、会長・副会長の方で進めていただきたいと思います。長谷川会長、よろしくお願いします。

○ 会長

それではよろしくお願いします。本日は、社会（歴史的分野）の教科書について御審議いただくことになっています。限られた時間の中で審議が適正に進むよう努めてまいりますので、委員の皆様には、様々な観点から幅広く御意見をいただき、充実した会となりますよう、御協力をよろしくお願いします。

それでは、配付資料の1の1ページにありますとおり、進めていきたいと思えます。

まず、教科用図書の調査・研究の経緯及び本日の審議について、事務局から説明をお願いします。

○ 事務局

（別紙資料により説明）

○ 会長

ただいまの説明について、ご質問等はございませんか。

（質問なし）

○ 会長

それでは、「審議」に入りたいと思えます。

先ほど事務局から説明がありましたように、社会（歴史的分野）の教科書の調査・研究報告を調査員の代表からしていただきます。委員の皆様には、教科書を手にとって、資料2と合わせて報告をお聞きいただきたいと思います。質問がございましたら、出していただき、報告について確認した後、資料に基づいて審議してまいります。

それでは、社会（歴史的分野）の調査員の方に入ってください。

（社会（歴史的分野）の調査員代表者入室）

○ 会長

膨大な調査研究をしていただき、ありがとうございます。それでは、社会（歴史的分野）の調査員代表の方から教科書の調査研究について、ご報告をお願いしたいと思います。

○ 調査員代表

（調査報告）

○ 会長

ありがとうございます。具体的な場所も含めて説明について委員の皆様からもう一度説明していただきたいところや、ご質問等ありませんか。

私から一つ、1番目に説明をいただいた観点2視点③のところ、東京書籍、自由社それぞれの教科書のページを示して説明していただいたページをもう一度教えていただけますか。

○ 調査員代表

東京書籍では、59～61ページ、自由社では67～68ページとなっております。

○ 委員

最後にご説明いただいた観点5、視点⑨にあります各中項目の最後に設けられているまとめの活動のところの具体的なページを教えてください。

○ 調査員代表

東京書籍89ページと146、147ページです。分かりやすいのが146ページで、先程説明した「みんなでチャレンジ」があります。自由社の方が104ページの「対話とまとめ図のページ」となっているところです。これらを比較していただければと思います。

○ 会長

その他いかがですか。調査をしっかりといただいていて、この後の審議にも関わりますのでご質問等もあればお願いします。

では、この報告書にまとめられている内容につきましてはよろしいですか。調査代表の方、ありがとうございました。調査員の皆様によろしくお伝えください。それでは、ご退出ください。

○調査員代表

よろしく申し上げます。失礼します。

○ 会長

それでは、本市の実態や生徒の状況に即した教科書として、審議して、「よりふさわしい」教科書を決めたいと思います。審議にあたりましては、本市の実態や生徒の状況に即してまとめられた報告書を参考に、2者の教科書の特徴を比較して、本市の生徒の課題に対応する特徴がある教科書を決めていきたいと思います。なお、委員の皆様の意見がまとまらない場合は、挙手により決めたいと思いますが、このような進め方でいかがでしょうか。

(賛同の声)

○ 会長

ありがとうございます。先程の報告書をもとに、委員の皆様方のご意見をいただければと思います。少ない人数でございますので、指名ではなく、思いつかれましたらどうぞ、ご発言を頂きたいと思いますがいかがでしょうか。

○ 副会長

どこからでもよろしいですか。広島ということで、広島の前爆に関して観点4の視点⑦、東京書

籍の3つ目の〇、自由社も3つ目の〇について、違いがあると感じました。

自由社は被爆の事実、実相を述べているということですが、東京書籍は、276、277ページにあるように、被爆の事実、実相を踏まえてこれからどうしていくべきなのかという、未来の思考というか、そういう視点があるのが特徴であると思います。広島市の生徒は、被爆の実相に関して小学生の頃からずっと学んできており、どちらかというところに基づいてこれからどうしていくべきかという視点があった方がいいと思いましたので、その点については、東京書籍は、課題設定や発展的な学習、深く考えることにつながっていくという点で大きく違うと一番感じました。

○ 会長

その他いかがですか。これに関連してでも結構ですし、まずここは特徴的だと思ったところでも結構です。

○ 委員

特に、言語活動について、まとめの活動、探究の活動に大きな違いがあるのではないかと思います。先程、調査代表からもありましたが、東京書籍の59～61ページ、自由社の66～68のページのように、2者ともにまとめの活動をすべての章に設けています。自由社の方は、望まれる答えが書かれ過ぎていて、生徒自身が探究するという部分がちょっと薄い印象があります。最後のまとめの「対話のページ」も、生徒に対話を促すのではなく、会話が書いてあることが多いです。一方、東京書籍は、「まとめてみましょう」というところで、全部空欄になっています。生徒に考えさせようとしており、言語活動という点でも自分で書いてみようと呼んでいるところがあり、深く学ぶことができるような工夫があるのかなと思います。

○ 副会長

私もそれはすごく感じました。自由社はこういう風に考えられるという例示がしてあります。東京書籍の方は、自ら考えないと埋められないような構成になっていますし、それから、まず課題設定して、こういう風に考えてまとめていく、というプロセスがかなり明確化されているのが東京書籍の方だと思います。自由社も課題が設定されていることは同じですが、プロセスがなくまとめになっている。扱っているものは同じような内容だが、生徒にどういう思考のプロセスで物事を考えていけばよいかという指針を与えているのが東京書籍で、これについて考えてみましょうと生徒に任せているように見えるのが自由社という感じがしました。

○ 委員

東京書籍は、スキルトレーニングみたいな形になっていて、どういう方法で思考を深めるかというのを様々なやり方でしているのが特徴だと思います。60、61ページはクラゲチャートですが、他の章では別の方法を使っていて、どんな方法でまとめていくのかについて、いろいろな方法があるというのを教科書の中で学べるようになってきているかなあとと思います。そういったところが、特徴的だと思います。

○ 副会長

そういったところで言うと、広島市の特徴や生徒の課題に合ったものを選ぶために、今年度も昨

年度同様に2番目の観点の「主体的に学習に取り組むための工夫」と、5番目の観点の「言語活動の充実」を重視しましょうという話がありましたけれども、工夫が見られるのは東京書籍かなと思います。

○ 会長

今、意見が出たところでは、主体的に学んでいくために適した教科書の構成になっているということですね。色々なページを開いて説明いただきましたけれども、先程のように、こことここを比較してみると強くこう思ったというようなページを挙げていただけると、共有しやすいですね。

○ 委員

よろしいですか。東京書籍の60ページ、古代のページのまとめのページは「古代のキーパーソンはだれだろう」というテーマで学習しますが、まずは、その前のページで探究のステップに沿った学習をして、次に、古代のキーパーソンをまとめることで、古代という時代を一つの流れの中で深くまとめるようになっていきます。同じ内容が自由社の67ページにあって、人物の比較をしたり、古代について一言作文をしたりして、いろんな方向に、いろんなことをやっているという印象です。ここを比べたときに、深い学びという点で東京書籍の方に特徴があると思います。

○ 委員

他の委員の方と同じ意見なのですが、思考ツールが東京書籍の方がちりばめられていると思います。いわゆるロジカルシンキングというか、社会人になって特によく思うのが、ものを考えるというのがすごく大事ななと思っています。保護者として子どもに何を学んでほしいかというのと、知識だけではなく、物事を進めるときにどう考えていくかというスキルを身に付けてもらうということをやりたいなと思います。そういう意味で、保護者として薦めたいというのは、東京書籍の方かなと思っています。先程の説明の中で、多角的にものを見るであるとか、協議をするとかという話がありましたけれども、東京書籍の146ページのピラミッドストラクチャーというものでどのように考えていくか学ぶようになっているなど、そういう観点から見ても東京書籍の方に特徴があると思っています。

○ 副会長

よろしいですか。例えば、東京書籍の142、143ページですけれども、まるで論文を書くかのようなテーマの設定がしてあり、それから実際に調査をしてみて、考察して、最後にまとめるという流れが示してあります。社会科に限らず、いろいろな物事を考えたり、まとめたりするときに、だいたいこのプロセスを経ます。プロセスが明確化されていて、歴史的な事実や史実などの知識だけを学ぶのではなくて、考えるプロセスや思考ツール、そういったものも含めて共に学べるというのであれば、素晴らしいと思いますので、東京書籍の内容の方がいいなと思います。

○ 会長

皆さんの議論の中心が、本市の生徒の課題である多面的・多角的に考察する力をつけるための部分についてされているようですね。また、説明したり、議論したりする力をつける部分にも関連すると思います。他に、特徴的な部分でお気づきのところはございませんか。今までの話にも含まれ

ていたとは思いますが。

○ 委員

先程おっしゃったページと重なるのですが、東京書籍146、147ページのところ、自由社の方は104ページのところで、子どもたちに議論させる、言語活動の充実、あるいは、考えさせる手順ということについて、これまで出た意見を象徴するような比較しやすい箇所かなと思います。東京書籍は、空欄の中で生徒がここに入るものについて議論できるようになっており、一方で自由社は、やり取りの例示を見て自分たちの議論をしていこうという手法を取っています。私たちが広島市の課題に対応する説明したり、議論したりする力をつけるためにはどちらが適切かについて比較しやすい箇所のように思いました。

○ 副会長

そういう意味では、もしかしたら自由社の方が、少しレベルが高いのかもしれないね。というのは、104ページの2人の事例ですが、2人の対話をみて、こんな風にすればいいんだという風に、よくできる子はこういうものから学ぶことができます。こんな風に議論すればいい、こういう形で考えればいいということが分かるのですが、例示を見てすぐにそこから推測したり、そこから何かを引き出したりできるかという、全ての子どもができるわけではないと思います。ですから、例えば東京書籍の146ページのみんなでチャレンジというところですけども、そこに、説明の仕方が示してあって、まずは結論を述べて、その理由はいくつあります、第1に、第2…にという形で、非常に形式ばった型かもしれませんが、こういう型を学ぶことによって、「意見を言えなかった」、「どこから始めたらいいか分からなかった」という生徒でも、まずは型を使って言ってみる、そして、何回もやってみるによって、それを自分なりに発展させるということもできるのではないかと思います。ですから、幅広い生徒の発達の状況に応じて使いやすいのは東京書籍なのかなと思います。そういう意味では、自由社は、例示を見て学べる、すぐに応用できるような生徒にとってはいいかもしれないけれども、そうでない生徒にとっては、ここからすぐに説明したり、議論したりするというのは難しいのかなという気がしました。

○ 会長

ありがとうございます。他に何かございますか。

観点2、観点5のところはたくさん出ておりますけれども、観点2と観点5を中心には言いながら、その他のところ、基礎基本の定着や内容の配列等、特徴的なところなどはありませんか。

○ 委員

よろしいですか。資料2の様式1、本市の実態や生徒の状況の二つ目の○で、本市の生徒は、身近な地域に関する歴史的事象について興味・関心は高く、文献や絵図、統計などの歴史学習に関わる資料を読み取る力は身に付いているけど、多角的に考察する力などに課題があるとしています。課題がある方に着目して議論していると思うのですが、この両者に関して、「身に付いている」の部分と「課題」の部分について、どちらかを選ぶかによって、どちらかがおろそかになることはないのでしょうか。

○ 委員

それについては、心配ないのではないかと思います。ただ、「文献や絵図、統計などの歴史学習に関わる資料を読み取る力」に関連する部分については、選ばれている資料に違いはあるのではないかと思います。教科書を作る出版社が重視する点によって、違うように思います。使っている資料やウェブコンテンツなどに差はあると思うのですが、資料の読み取りをする際によく使われる文献や統計の資料などは、似たようなものが使われていることが多いですので、読み取る力という点においては、教員が授業を組み立てる中で、資料の使い方の工夫も大事だと思います。そういう意味では、東京書籍の52、53ページを見ると、資料を読み取る活動をさせたいところに「読み取る」というマークがついていて、分かりやすくなっていると思います。

○ 会長

どちらも検定に合格している教科書なので、学習指導要領に沿った学習内容については対応しているということですが、それでもいろいろな面で違いはあるということですね。

それでは、ご審議いただき、いろいろな意見が出ましたがまとめに入りたいと思います

観点2の主体的な学習に取り組むための工夫についての特徴は、皆さんに意見を頂きまして、繰り返しませんけれども、本市の生徒の課題により寄り添った内容であるということが意見として出されたと思います。特に、それが東京書籍の教科書の方に特徴が多くみられたというご意見だったと思います。

また、観点4の内容の表現・表記、観点5の言語活動に関わって、広島を取り上げ方等の説明もございました。どちらの教科書も広島の前爆の被害等について丁寧に取り上げてあるけれども、本市の子どもたちにとって、形から学びながら徐々に思考を深めていくというような表現、表記、そして、言語活動を充実させていくという点で、東京書籍の方の特徴が多く意見として挙げられたと思います。

それでは、東京書籍の教科書をよりふさわしいと考えるという意見を付して、答申するというところでよろしいでしょうか。

(賛同の声)

○ 会長

では、その他に意見として付すようなことはございますか。

(意見なし)

○ 会長

今後、皆さんからいただいた意見をもとに答申を作成してまいります。作成については、会長と副会長に一任していただくということよろしいでしょうか。

(異議なし)

○ 会長

それでは、この結果をまとめまして、教育委員会に答申するというにしたいと思います。何度も確認しておりますが、過半数で決するという事となっておりますので、ご賛同いただく方は挙手をお願いします。

(全員挙手)

○ 会長

全員賛成の挙手をいただきましたので可決いたします。

では、教育委員会から諮問されました教科書の調査・研究について、慎重に審議を行った結果を先程可決いただきましたように答申いたします。

以後は、会長の責任において、事務局との間で答申の事務手続きを行いたいと思いますが、一任していただけますか。

(異議なし)

○ 会長

それでは、本日のすべての審議について、終了いたします。

委員の皆様の御協力によって、広島市の教科書採択について、公正かつ適正に審議し、教育委員会へ答申することができそうです。委員の皆様、御協力ありがとうございました。

○ 事務局

委員のみなさまありがとうございました。最後に指導第二課長より御挨拶をさせていただきます。

(課長挨拶)

○ 事務局

長時間にわたり、委員の皆様大変ありがとうございました。お疲れのところだと思いますが、本日の資料等について、お願いさせていただきます。公正確保のため、資料は回収させていただきます。この会議の内容につきましては、秘密を厳守していただきますよう、重ねてお願いいたします。

以上でございます。

ありがとうございました。